

議会だより

2017.04.27

No. **173**

山梨県昭和町議会

<http://www.town.showa.yamanashi.jp/>

しょうわ



食推会合の様子

今年度も頑張ります!! 関連ページ 22

町長所信表明(施政方針)

小さくても豊かな ②
まちづくり

3月議会で決まったこと ⑥
新年度予算議決!

一般質問質疑応答 ここがききたい! ⑧

甲府昭和高校との連携事業 ⑩

議員記者が行く! 食推ヘインタビュー 22

•表題については「三井猛議長」直筆によります。

角野町長の所信表明

小さくても豊かな まちづくり!



主要施策3つの柱!

1

都市計画マスタープラン
と緑の基本計画を策定

都市計画の視点から未来の
昭和町の姿を描いていきます。

2

(仮称)生涯学習館の建
設と、児童生徒数増加に
伴う押原中学校の校舎増
築に向けての建設検討
委員会の設置

町民の皆様から要望をいただき、
第6次総合計画や昭和町まち・
ひと・しごと総合戦略にも位置づ
けている計画を進めていきます。

3

子育て支援に関する総
合サービス拠点の整備、
検討

多様化する子育てニーズに、よ
りきめ細かい対応を可能とする
ために進めていきます。

施政方針 (要旨)

町民サービスの維持・向上を目指す6つの諸施策!

①「支え合う健やかな町を目指す」

- さらなる福祉の向上。

④「にぎわいと活力のある町を目指す」

- 交流人口の増加に努め、企業支援を
することによる雇用や起業の増加。

②「豊かな心と文化を育む町を目指す」

- 教育・スポーツ・文化活動の支援。

⑤「安心して暮らせる町を目指す」

- 消費者生活の向上、セキュリティ強
化、災害への備えを万全に。

③「快適で住み心地のよい町を目指す」

- 快適な住環境、リニア開通を見据えたア
クセス道路の整備。

⑥「参画と交流の町を目指す」

- 町内各種団体との連携支援の
継続

人 事



しむら たけお
志村 武夫氏
西条4208番地

副町長

※全員同意で選任

任期：平成29年4月1日～平成33年3月31日

**「住みよいまちのさらなる
成長のために!」**

昭和町副町長に志村武夫氏（西条一区）が再任されました。
2期目となります。

公平委員

※全員同意で選任

任期：平成29年4月1日～平成33年3月31日

平成29年3月31日をもって任期満了となることから3人の公平委員が選任されました。

委員

やまもと さとし
山本 哲氏
河東中島区

あきやま まさみ
秋山 正巳氏
河西区

なとり ただよし
名執 忠義氏
西条一区

農業委員会委員

※全員同意で任命

任期：平成29年5月17日～平成32年5月16日

委員

かさい まさる
河西 勝氏
西条二区

しおた まさかず
塩田 正和氏
西条新田区

うえすぎ まさな
上杉 正名氏
押越区

さ の くにお
佐野 國夫氏
河東中島区

さぎやま ふさお
鷺山 房雄氏
紙漉阿原区

くぬぎ あきよし
功刀 明好氏
築地新居区

いしはら まさふみ
石原 正文氏
河西区

いとう かずひこ
伊藤 和彦氏
上河東区

やまもと た く
山本 拓氏
河東中島区

ながぬま れいこ
長沼 禮子氏
河西区

しのはら よりこ
篠原 頼子氏
西条二区

ささもと たかし
笹本 孝氏
清水新居区

選挙管理委員会委員

※議会で選挙

任期：平成29年4月12日～平成33年4月11日

委員

平成29年4月11日をもって任期満了となることから、議会在4名の選挙管理委員を選出しました。
また補充員として4名が選出されました。

しみず まさる
清水 克氏
押越区

うちいけ みつお
内池 光男氏
西条二区

いそべ ひろし
磯部 洋氏
飯喰区

すぎうら つよし
杉浦 彊氏
西条新田区

補充員

あめみや あきひと
雨宮 章人氏
上河東二区

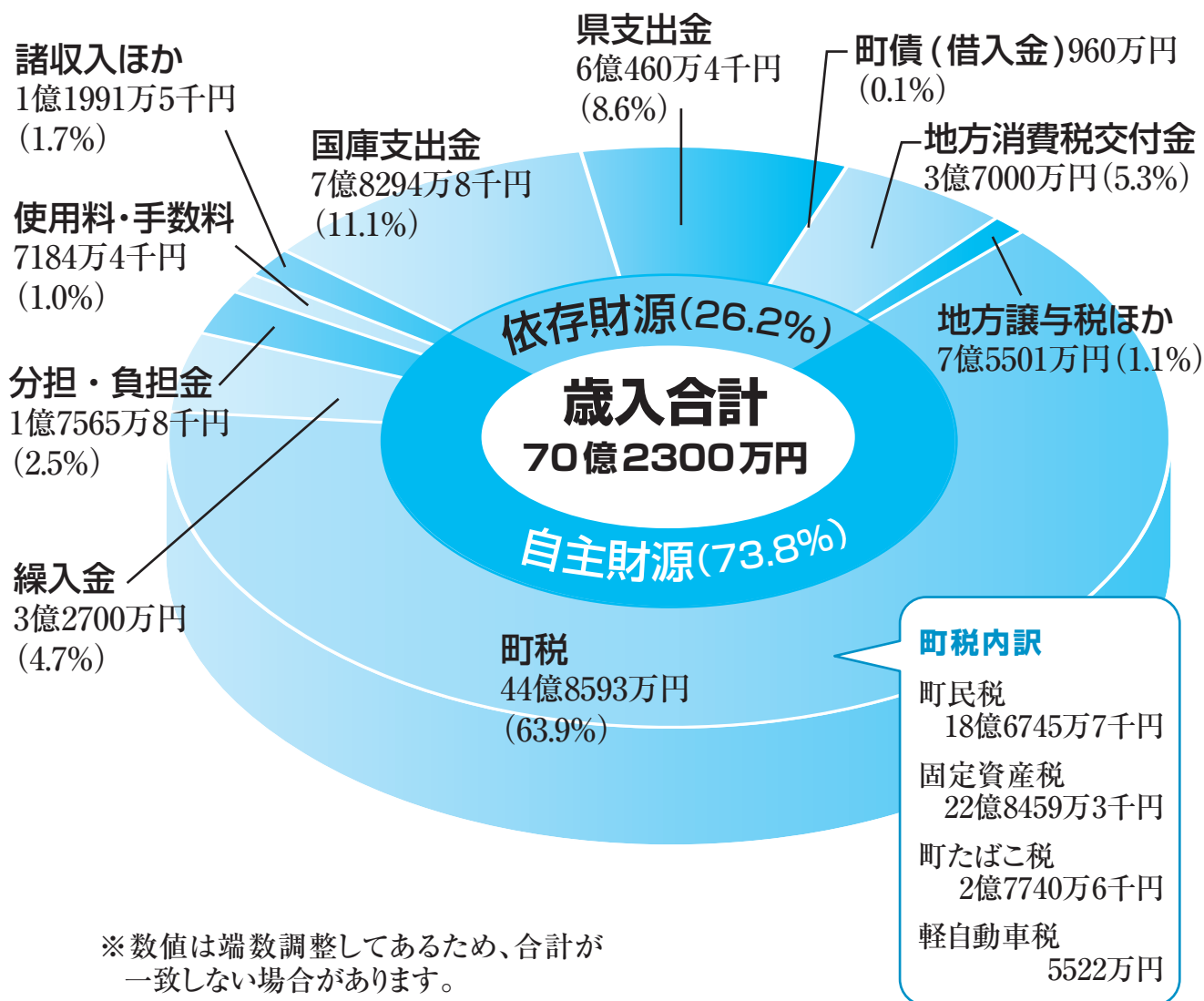
はぎはら くにひこ
萩原 邦彦氏
河西区

たけうち まこと
武内 誠氏
築地新居区

ほさか かすお
保坂 一男氏
清水新居区

障費充実!

投資でよりよい町づくり

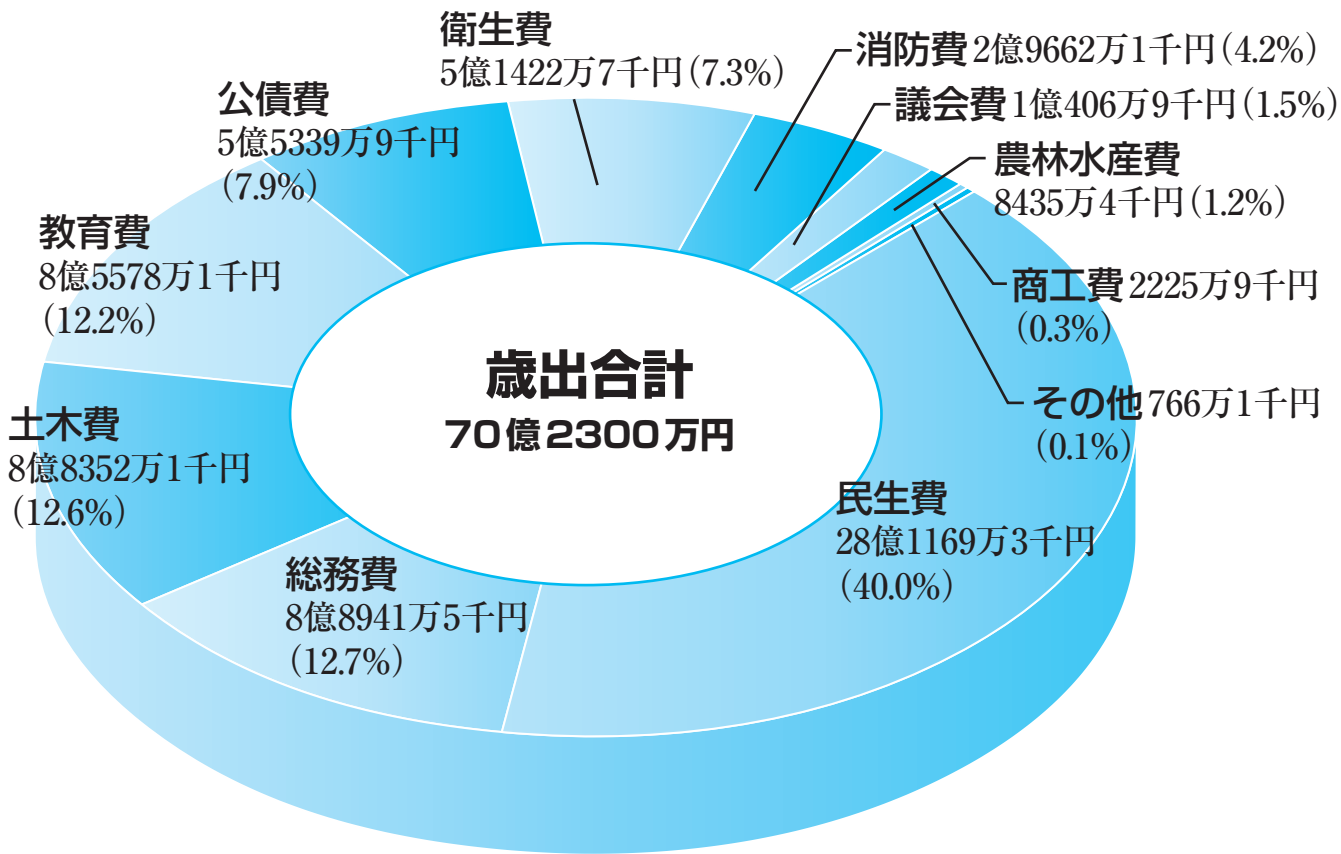


一般会計 の 主な事業

・自立支援給付費	2億5860万円
・後期高齢者医療給付費	1億481万円
・重度心身障害者医療費	5160万円

平成29年度
一般会計

社会保 人への



平成29年度一般会計・特別会計

会 計 名		新年度予算 (H29)	昨年度予算 (H28)	差	前年度 比率	可 否
一般会計		70億2300万円	69億7300万円	5000万円	0.7%	全員賛成で可決
特別会計	国民健康保険	22億7700万0千円	20億8000万0千円	1億9700万円	9.5%	全員賛成で可決
	後期高齢者医療	1億5410万0千円	1億4530万0千円	880万円	6.1%	全員賛成で可決
	介護保険	9億9473万4千円	10億 381万0千円	-907万6千円	-0.9%	全員賛成で可決
	介護サービス	2216万1千円	1888万9千円	327万2千円	17.4%	全員賛成で可決
	下水道事業	11億1990万2千円	10億 492万2千円	1億1498万円	11.4%	全員賛成で可決
	渇水対策事業	698万3千円	512万7千円	185万6千円	36.4%	全員賛成で可決
合 計		115億9788万円	112億3104万8千円	3億6683万2千円	3.3%	

子育て支援の充実を！

一般会計 ※全員賛成で可決

歳入

- 子どものための教育・保育給付費・
地方単独補助金〔増額〕
- 放課後児童クラブ整備事業費補助金〔増額〕

歳出

- 臨時給付費〔増額〕
- 民間保育所施設整備費〔減額〕

財政調整基金

(剰余金)

1億8241万9千円を積み立て

公共施設整備等事業基金

(剰余金)

1億27万円を積み立て

特別会計 ※全員賛成で可決

国民健康保険特別会計

810万4千円【減額】
(総額:21億9896万6千円)

後期高齢者医療特別会計

91万9千円【減額】
(総額:1億4532万9千円)

介護保険特別会計

1億3342万6千円【減額】
(総額:9億4225万4千円)

介護サービス特別会計

4万5千円【減額】
(総額:1818万9千円)

下水道事業特別会計

722万9千円【減額】
(総額:10億2732万7千円)

渇水対策事業特別会計

256万4千円【増額】
(総額:769万1千円)

3月議会で決まったこと

平成29年3月定例会は、3月2日から17日までの16日間の会期で開催されました。町長から提出された平成29年度一般会計および特別会計予算7案件のほか、28年度の補正予算7案件、条例の制定・改正7案件、選挙1案件、また人事案件16案件、その他1案件、計39件を審議しました。一般質問には11人の議員が15件について活発な質問・意見を展開し、町長の考えを問いました。

条例制定 ※全員賛成で可決

○環境基本条例制定

- 町民、町および事業者がそれぞれの役割分担のもとに協働して良好な自然環境と健全な社会環境の保全と創造を推進するための条例制定。

○町長の給料月額の減額に関する条例制定

- 社会福祉協議会職員の不祥事に対する会長としての管理監督責任、および、社会福祉協議会への町職員派遣に対する町長としての任命責任について角野町長からの申し出により給料月額の10分の1減額を2ヶ月間行うための条例制定。

平成29年4月1日 施行

条例改正 ※全員賛成で可決

◎職員給与条例の改正

- 時間外勤務手当の計算方法について、労働基準法に適合するよう改正。

◎職員の勤務時間、休暇等に関する条例の改正

- 主に働きながら介護がしやすい環境にするための改正。

◎職員の育児休業等に関する条例の改正

- 育児を行う職員の職業生活と家庭生活の両立を図るため、育児休業の対象となる子の範囲が拡大されたことによる改正。

◎ひとり親家庭医療費助成金の支給に関する条例の改正

- 児童福祉法の一部を改正する法律の施行に伴う条文中の項の繰り下げをするための改正。

◎特別職等の委員及び区長等で非常勤のものの報酬および費用弁償に関する条例の改正

- 青少年カウンセラーの勤務日数を増やすため、および農業委員会等に関する法律の改正があったことによる改正。

平成29年4月1日 施行

その他 ※全員賛成で可決

○指定管理者の指定について

昭和町押原公園の設備、備品について、平成29年4月1日から5年間、一般社団法人山梨県サッカー協会に管理させることについて、議会の議決を求めるもの。

施策を問う \ ここが聞きたい \

一般質問の内容はホームページで検索できます。議会事務局でも閲覧できます。



かわすみ やすしげ
河住 保茂 議員

Q

諮問機関の見直しを

A

必要に応じて統合、
廃止を検討していく

河住

審議会、調査会等の諮問機関の見直しが必要ではないか。ここ3年の諮問機関の活動実績も教えてほしい。
また、諮問機関の委員を幅広い階層から募集することは可能なのか。

町長

現在、町には諮問機関が22機関ある。それぞれの設置目的や活動内容が異なるので見直しは容易ではないが、必要に応じて統合、廃止を検討していく。会議の開催回数は、平成25年度からの3年間で1機関あたり平均約2回で、案件がなく会議を開催しなかった審議会等は7機関ある。

今後もパブリックコメントなどを通して、町民参加の機会を充実させるとともに、それぞれの分野で専門的な知識を持った方々を積極的に選任していきたい。

再質問

諮問機関でその後の活動がないところは解散してもいいと思うが、解散できないのか。
また、審議会をある程度統合し、必要であれば分科会等を置くという考えもあるが、

町の考えは。

総務課長

行財政改革審議会など数年開催していない審議会についても、案件がでた時には審議会での諮問が必要のため、今現在、廃止は考えていない。

現状を調査する中で、審議会等統廃合できるか、また、その場合、小委員会や分科会などの設置により対応可能かどうかについても検討したい。

Q 認知症にやさしい町づくりを

A コミュニティを強化し取り組む

河住

高齢者や地域、認知症の方の見守りはどのような方向性になるのか。

また、認知症になっても住みやすい町を目指した取り組みは。

町長

認知症サポーター養成講座などさまざまな展開を図り、平成30年度には認知症初期集中支援チームも立ち上げる。
また、高齢者にやさしい地域づくり推進のため、3つのモデル

地区で「地域のこれからを考える会」が活動している。コミュニティをさらに強化して、認知症にやさしい町づくりを進めていく。

再質問

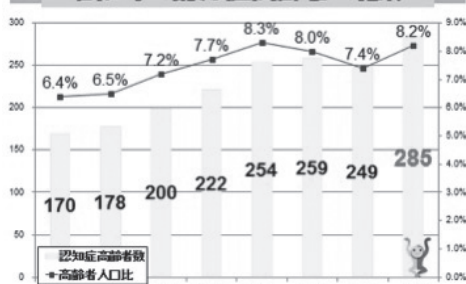
平成30年までに設置する認知症初期集中支援チームの設定には、資格を持った専門家が必要だが、具体的にどう進んでいるのか。

いきいき健康課長

支援チームは医療と看護および介護の専門職で構成する。保健師以外は外部からの協力が必要で、認知症サポーター医は確保の目途がたっている。

特定の資格を持った看護師についても、メンバーとして考えている。

昭和町の認知症高齢者の推移





工業団地内企業の活性化に向けた 緑地面積率等の緩和は

A

緩和案を議会に上程する



よ だ し げ き
依田 茂巳 議員

依田

①工業団地内企業の経済活動活性化を目指して、緑地面積率等を緩和する準則条例を制定する考えは。

②釜無工業団地内にある未利用地の新規企業誘致を積極的に進める必要があるが、その対策は。

町長

①釜無工業団地については既に要望もあり、緑地面積率を25%から15%に緩和する案を議会に上程する考えた。国母工業団地は甲府市、中央市、昭和町にまたがっているため協議を進めていく。
②企業からの問い合わせはあるが、道路幅の問題等で誘致に至っていない。今後、道路の拡幅も検討し、

税収増につながるよう努めていく。

再質問

準則条例の議会上程までのスケジュールは。他市とのかかわりある国母工業団地でも早期の条例制定を望む。

また、国母工業団地内企業との意見交流も積極的に行うべきだが、町の考えは。

環境経済課長

3月中に県と市町との最初の協議会がある。国母工業団地は市町をまたがっている企業もあり、協議が長引く可能性があるため、釜無工業団地の緑地面積の緩和が先行する。
また、国母工業団地工業会と2市町との意見交換の機会も持つていきたい。

Q 中小企業・小規模企業の支援策は

A 支援する条例制定を検討していく

依田

中小企業と小規模企業の支援体制をより充実していくための条例制定の考えは。

町長

昨年6月に創業者支援利子補給制度の要綱を策定し、創業者支援を行っているが、「中小企業・小規模企業振興に関する条例」も早い時期に制定できるように検討していく。

再質問

条例の制定はいつごろを予定しているか。合わせて基本計画の策定をどう進めていくか。

環境経済課長

条例は遅くとも平成29年度中には議会に上程したい。
基本計画については、町を取り巻く環境や目指すべき目標を分析して対応していく。

Q スポーツを
活かしたまちづくりを

A 検討するための
組織を立ち上げる

依田

現有しているスポーツ施設を有効利用し、スポーツを活かしたまちづくりによるブランド化を考えては。

町長

スポーツを活かしたまちづくりという考え方は、これからの町発展の一つの方策。
検討するための組織づくりを前向きに考えていく。

再質問

検討する組織は具体的にいつごろ、どのように体制を作っていくのか。

生涯学習課長

全国の先進事例などについて情報収集、調査した後、来年度中を目標に引き上げたい。



可能なサポート体制!財源確保!!

一般質問

Q 高齢者の運転免許証自主返納の支援策は？

A 試験的に自主返納のための送迎を検討



いしはら たかあき
石原 高明 議員

最近、高齢者の運転ミスによってと思われる交通事故が頻繁に起きている。

こうした事態を受け、警察をはじめ多くの自治体が高齢者の運転免許証の自主的な返納を呼びかけた結果、運転免許証の自主返納件数は増えていて、身分証明として使える運転経歴証明書も発行されている。

しかし、自主返納を希望し、運転経歴証明書の交付を申請したくても、免許センター等へ出向くことが困難な高齢者もいる。運転経歴証明書の交付手続きのための送迎サービスの実施について、また今後の高齢者の運転免許自主返納の支援策について考えを伺いたい。

町長

まず実態の把握のため、担当課で民生委員などを通じて情報を収集しながら、試験的に一度、自主返納のための送迎を行うことも一つの手法ではないかと考えている。

実施の際には、福祉バスが町内を巡回し、高齢者を乗せて免許センターへ送迎する方法が適しているだろう。

将来的には、高齢者に限らず誰もが利用できる交通機関として、商業施設や公共施設、医療機関、主要駅などを結ぶコミュニティバスの検討をしていきたい。

再質問

民生委員の協力のもとで行う実態の把握は、いつごろ実施するのか。

また、福祉バスを活用した試験的な送迎サービスは、いつごろから行うのか。

福祉課長

実態把握は5、6月あたりに行われる民生委員の定例会でお願いし、把握していく。ある程度の利用者の数が見込まれたら、いきがい大学や広報などで周知する。試験的な送迎サービスは、今年度中には対応していきたい。

Q 市街化調整区域の拡大を

A 都市的土地利用が図れるよう努めていく



たなか ひろあき
田中 博愛 議員

田中

町の面積の50%が市街化区域、残りの50%は調整区域だが、調整区域に農地を持つている人のほとんどが自家消費型農業や兼業農家であり、農業を続けていくのが困難なのが現状だ。

将来的なまちづくりを考えると、抜本的に市街化区域の拡大を進め、面的整備をすることが課題と考えるが、どう進めていくのか。

町長

町では市街化区域の整備拡大に努め、現在の市街化区域は町全体の61%を占めるまでと

Q

保護観察対象者の再犯・再非行の防止

A

雇用、支援体制の構築などに取り組む

林



はやし かずひと
林 和仁 議員

犯罪や非行をした人の雇用、支援体制の構築、国の活動と連携した広報、啓発体制の強化に取り組むとともに、昭和町商工会、昭和町建設安全協議会、釜無・国母工業団地等の事業者に対し、就労支援の働きかけを行い、犯罪防止の一端を担うことに貢献したい。

町長

保護観察対象者の再犯率は有職者が7.4%無職者が36.3%であり、再犯・再非行を防止するには、地域において雇用を積極的に進め、適切な生活環境と一定の生活基盤の確保が大切だ。地域に精通している行政が、地元企業等への呼びかけをするなどの就労支援の取り組みが必要だが、どう考えるか。

再質問

協力雇用主に対する公共工事等の競争入札における優遇制度を導入している自治体が増えているが、入札参加資格審査における優遇処置について導入の考えはあるか。

また、昨年12月に再犯防止推進法が成立し、地方自治体に再犯防止推進計画を定める努力義務が課せられているが、その対応は。

企画財政課長

山梨県ではまだ導入されていないので、県の状況を見ながら検討していく。

また、再犯防止推進計画については、国は施行後から5年をめどに施行状況について検討を加え、結果に基づいて必要な措置を講ずることになっている。県の状況を見ながら検討していく。

なった。

しかし人口減少や少子高齢化の社会情勢の変化により、市街化調整区域の市街化区域編入は非常に難しい状況であることから、面的整備による市街化区域への編入を目指すのではなく、都市的土地利用が図れるよう市街地を拡大していく方法で進めていく考えだ。

また今後のリニア環境未来都市整備方針や、国や県の動向を注視しつつ、市街化調整区域の土地利用についての方針等を検討していく。

再質問

町内において、農業、人口、教育、高齢化等、総合して格差のないまちづくりの対策が求められているが、どう構築していくのか。

都市整備課長

まずは都市計画マスタープランができてから検討する。手法ばかりでなく、多様な面からまちづくりを検討していきたい。



都市計画図(昭和町)

Q 障がい者の就労支援の現状と今後の動向は

A 関係機関と連携を図り、就労支援に努めていく



かねまる とみかず
金丸 富一 議員

障がい者の就労支援の事業について、対象となる人員や町内の支援団体の数や支援内容等の現状の様子は、また今後予想される動向についても説明を。

金丸

町長

町では障がい者を雇用している中小企業からの物品購入等を行い、障がい者雇用の促進を図っている。また町内には障がい者の就労支援をする支援事業所が3ヶ所あり、現在4人が利用している。

就労支援事業等の利用者登録は33人あり、利用期間の長短はあるが、平成27年度は延べにして300月の利用があった。

今後も国の動向にも注視しながら、支援事業所や関係機関と連携を図り、就労支援に努めていく。

再質問

①障がい者の就労支援の第二步として、支援団体との意見交換会の開催の考えは。

②町内における自立支援が必要な障がい者の数は、増減は予想しているか。

また利用者が増加した場合、現状で受け入れは可能か。協力事業者の確保は福祉計画に盛り込まれているのか。

福祉課長

①事業所等との連携を図る中で、意見交換にも力を入れていきたい。

現在、自立支援協議会の中で事業所団体と定期的に意見交換を交わしているが、それも活用しながらさらに連携を深めていきたい。

②平成29年度は40人の就労に関する自立支援を見込んでいる。

各事業所との意見交換の場を使いながら、町内だけでなく広域的な県内施設を有効に活用し、多くの人の就労支援ができるよう努めていく。

Q 風土伝承館・杉浦醫院の独立性の確保を

A 来年度から独自の支出業務、決裁に



ひくち としお
樋口 敏夫 議員

①杉浦醫院のよりスムーズな運営や独自のPR活動の推進など、さまざまな事業展開ができるよう、杉浦醫院の独立性を高める必要があると思うが考えは。

樋口

②町内の学校に勤める教職員に杉浦醫院の見学会を組み入れた研修を行い、教職員の町に対する歴史の知識の蓄えと、町教育レベルの底上げにつなげてほしいが、町の考えは。

教育長

①町の貴重な財産である杉浦醫院の、県内外への積極的なPRが必要だ。

来年度の予算では、杉浦醫院運営費として予算要求しており、独自で支出業務、決裁が行えるようになり、予算の執行が



新地方公会計制度の導入を



平成29年度の移行に向けて体制を整備中

中澤

国が強く指導している新地方公会計制度は、企業会計で普通に行われている貸借対照表、損益計算書などの数字を見て、財政改革や将来に向けて努力しなければならぬことを組み立てるもので、地方が自立するきっかけを与えているものである。

この新地方公会計制度を導入することで、行財政の効率化や持続可能な財政運営の実現を目指すと考えているが、町の考えは。

町長

基準に合った公会計に対応するため、固定資産台帳のストック情報と決算状況を基に、平成29



なかざわ やすお
中澤 康夫 議員

年度中に平成28年度決算分について財務書類を作成する予定。財務会計システムにおける公会計の対応は完了している。

職員の複式簿記の知識習得や、専門知識を有する財務会計システム納入業者と支援業務委託の締結も行い、平成29年度の新地方公会計制度への円滑な移行に向けて体制を整備している。

再質問

平成28年度決算分から財務書類を作成していくというが、その内容は。

企画財政課長

今回の整備では、平成28年度決算分から、財務会計システムの伝票仕分けを行い、財産取得による資産増と現金資産の増減を行う複式簿記の方式の情報と、固定資産台帳のストック情報と、減価償却状況のデータをこの財務書類に反映させる。



杉浦醫院



よりスムーズになっていく。来年度は英語版プロモーション用ビデオの作成などのPR活動の予算案も提出している。今後も円滑な運営とより魅力的なPR活動が行われるよう努めていく。

②今後、夏休みの研修として、杉浦醫院の見学を含めて文化財や史跡、工業団地の見学などを、教育委員会が主体となつて、全教職員が参加できる方法を検討し実施していきたい。

再質問

入場者の増加をめざす手段の一つとして、山梨県立博物館と協力し、資料の相互貸し出しなどの連携が必要だと思うが、町の考えは。

教育長

県立博物館の多彩な資料の中から、杉浦醫院で借り受けして特別な展示が可能か打診した。

貸し出しする場合は温度管理、湿度管理が必要なのは無理とのこと。

展示する場合の対象者によっても内容がかわるので、すり合わせていきたい。情報交換をしながらか連携していく。

Q 展望タワーで観光振興を

A 現状の財政では難しい



ほり もんた 堀 門太 議員

堀

山梨県のご真ん中にあり、富士山や八ヶ岳などを見ることができ、昭和町の立地を活かし、観光情報発信基地としてランドマーク的な展望タワーの建設を提案する。

4年後の町制50周年の記念事業と位置づけ、寄附やネーミングライツなどで資金を集め、町の支出は極力抑えて取り組みたいが、町の考えは。

町長

町の財政は社会保障関連の費用が増加傾向にあるため、義務的経費と扶助費が増加していて、普通建設事業費の公共施設建設や用地取得など投資的経費を抑制しなければならぬ状況だ。

喫緊の課題として優先順位の高い押原中学校の校舎増築、中央公民館に代わる施設の原資となる基金の積み立ても思うようにならない現状をご理解願いたい。

再質問

財政的に厳しいという答弁だが、スカイツリーのような高層でなく、低予算での建設を提案したい。

タワーに代わるダイナミックな観光施策は、また町制50周年の記念事業として何か考えがあるのか。

企画財政課長

現在ある観光資源として、山伏川の桜並木、紙漉阿原の桜、杉浦醫院などがある。

町制50周年の記念事業については、現段階では考えていない。4年後なので検討していきたい。



タワーイメージ：京都タワー

Q 子どもの心の発達支援を

A 関係機関が連携し支援に取り組む



かわだ あけみ 河田 あけみ 議員

河田

発達障害は発見が難しく、保護者との共通理解が困難な場合が多いため、発見することに主眼が置かれ、支援にまでつながらないことが多い。

支援方法を家族に説明し助言をしながら、その子なりの成長と一緒に見守っていくことが最大の支援になるといわれている。

それには正しい理解を持つて適切な環境を作っていくことや、幼児期から切れ目のない支援が大切だ。

①就学健診より早い3歳児健診の必要性は。

②保健・福祉・教育の連携による切れ目のない支援を行うための窓口一本化についての考えは。



町内への無線LANの設置と活用は



WiFi環境の整備を検討していく



たかの かずお 鷹野 一雄 議員

鷹野

町内では町民が活用できる場での公衆無線LAN「WiFi」の設置が少なく、取り組んでいく必要があると思われる。庁舎内や町内各地の避難施設など防災の拠点場所に設置することで、災害時の住民らの安全を確保できる。

また、図書館や、多くの町民が利用する公民館などへの設置も必要だが、町の考えは。

町長

町内の各小学校は、授業に活用できるように平成29年度予算で無線LANアクセスポイントの設置費用を計上した。

今後は、図書館、避難所を管理している担当課と協議し、制限を設けたうえでWiFiを設置し、非常用

の電源確保も行い、災害時の通信手段としていくなど、国の動向を見ながらWiFi環境の整備を検討していく。

再質問

WiFi設置には関係部署が多岐にわたると思うが、具体的に考えている設置施設、関連部署は。

また、整備においては導入計画を立てる必要があり、組織を設けて優先順位、予算等を検討する必要があると思うが、考えは。

企画財政課長

設置施設と関連部署については、避難所の西条小、押原小、常永小の体育館は学校教育課、地域交流センターは生涯学習課、甲府昭和高校体育館は山梨県、福祉避難所の総合会館は社会福祉協議会、広域避難所の押原公園は都市整備課、救援物資集積所の総合体育館と図書館は生涯学習課、総合対策本部となる庁舎は総務課になる。

また、設置の優先順位、設置時期については補助金の条件、財政状況も考慮して検討していきたい。

また、総務省の公衆無線LAN環境整備支援事業の動向を注視していきたい。

③保育園との連携、保育士や教員等への研修を図る考えは。

町長

①発達障害の早期発見・早期対応の観点では、5歳児健診では遅すぎると言われている。町では1歳6ヶ月健診・2歳児健診・3歳児健診で問診や発達検査を充実させているので、5歳児健診の導入は考えていない。

②発達障害の支援を含め、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援をするワンストップ拠点としての「子育て世代包括支援センター」を、平成32年度までに設置することを目指している。

③町内の保育園と保健師、学校教育課の教育指導監が連携し支援に取り組んでいる。教員・保育士等の研修は、県の研修に参加し、資質向上に努めている。

再質問

乳幼児の発達には違いがあっても当たり前である。そのため、発達障害は1、2歳の健診でははっきり判断はしきれず、そのまま1、2年過ぎてしまうという状況も多

い。保育園や学校などの連携が必要ではないか。

また一人ひとりの特性に応じた支援を望む。一般の親に対しても特性を理解してもらうために、保護者向けのセミナーも検討してほしい。

いきいき健康課長

発達障害は「病気」ではなく、ある特性があつて生まれ、そのために生活に支障を来している「状態」だと言われている、その「特性」があつても特に困ることがなければ、診断も支援も必要とは限らない。

また、発達障害の特性は、家庭や健診では気づきにくい面もあるので、集団生活の場である保育園や学校なども連携して早期の対応や支援をしている。

教育長

保護者には一般論として、特性がある子どもたちについてさまざまな機会を設けて話していきたい。特性がある子どもたちのケアにも取り組んでいきたい。

また、新入学生については入学前に保育園、幼稚園に向いて聞き取りをしたり、入学後のきめ細やかなケアも図ったりしていきたい。

第1回定例会(3月)委員会質疑

水源対策 特別委員会

地下水採取を承認

押越区内の医療機関からの井戸設置許可申請に伴い、地下水採取の適正化に関する条例に基づき、平成29年5月の採取を許可することを委員全員で承認

昭和町の地下水の源

山梨大学・昭和町共同研究による、山梨大学中村高志助教授から伏流水について中間報告

地下水の自噴は

依田議員 前には自噴していたが、今自噴しない理由は。
中村助教 地下水の水位が下がっている場合と、ストレーナのつまりが考えられる。
石原(二) 昭和町でも層によって金気(鉄分等)が出ると聞くがどうか。
中村助教 低い地域で、滞留時間が長いと金気が多くなるため。

地方分権対策特別委員会

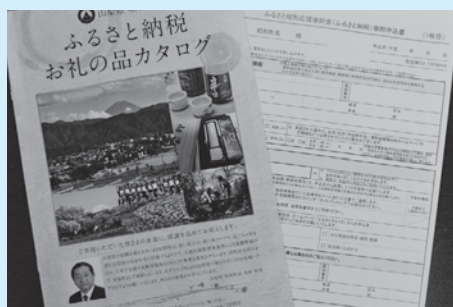
公共施設等 総合管理計画について

依田議員 新規施設の建設は行わないとあるが、町長所信表明の老朽化している公民館の建設は。
法制係長 新規建築はしないが、公民館は改築であるので記載の書き換えを検討する。

田中議員 公民館の改修をした時の国・県の補助金は。
総務課長 対象となる補助金について調べます。

ふるさと納税の現状は

石原(二) ふるさと納税に関して、町に入ってくる税金がいくらぐらい差し引かれているのか。
政策秘書係長 ワンストップ特例を利用した方だけで計算すると約700万円。それを踏まえた上でも今年度は税収的に良い方向にあります。



ふるさと納税パンフレット

中澤議員 返礼品に町内商工会やJAの利用を
総務課長 28年度は町内商工会の実績もあり、今後も働きかけをします。

総務常任委員会

チャイルドシートの 貸与について

堀議員 チャイルドシート貸与の対象者は町内在住の親子になっているが、祖父母にも貸与できるように拡大しては。
企画財政課長 チャイルドシートを貸与する条件は、子の親で昭和町に在住の方、住民票がある方、また特に町長が認めた者となる。里帰りする人は住民票がないので貸与は出来ないがリース業者が安価で貸し出すのは可能と聞いている。

町広報の記載について

塚原議員 町広報に道路工事の入札結果で町道何号線と記載しているが町民にはわかりづらいので地区名・区間名等の記載をしてほしい。
企画財政課長 地区名・区間等を記載することは可能なので次号から行うようにする。



貸与しているチャイルドシート

教育厚生常任委員会

補助金・助成金の内容は

河田議員 ふるる子ども園への補助金が減額となっているが。

福祉課長 最高額で見積もって予算を出したため入札により減額となった。
河住議員 子宮頸がん予防ワクチン接種後の症状に対する医療費への助成金の限度額は。

いきいき健康課長 治療に要する交通費などの医療手当には上限があるが医療費自体への上限は無い。



ふるる子ども園

改修等工事費委託について

依田議員 給食センターの施設改修費等工事設計委託はどのような改修か。また、給食運営委員会での議論内容は。

教育長 今後食数増加が見込まれるため、食数を増やす・センターの効率化・アレルギー対応の充実、以上主に3点の充実に図るための改修。運営委員会では給食費未納者、業者選定の関係等協議している。



給食センター

ICT教育について



ICT教育へ

鷹野議員 ICT教育をどのように推進していくのか。

教育長 情報機器を使いながら進める。現状、コンピュータ室やiPadの設置を進めている。今後は、人工知能の関係やプログラミング教育に対応できるように進めていく。

産業土木常任委員会

環境基本条例について

堀議員 製造業の工場を建築する場合、緑地面積を25%から15%に緩和する予定とあるが、その中で環境基本条例を制定することについてどうか。

環境経済課長 町の狭い面積の中で緑化率など昭和町に合ったやり方を考えていく。

副町長 緑化率を下げても他へ投資を促すようにして、雇用と景気、増収へ繋げようという考えから、計画を実施していくことで全体の活性化につながるかと考えている。



緑化率緩和へ

廃棄物処理施設について

葉袋議員 県の一般廃棄物処理施設事業について、いつごろから、どのような規模で進めるのか。

環境経済課長 一般廃棄物処理施設については、面積3ha、容積30万立平米、埋立期間20年で平成30年12月完成予定となっている。



最終処分場建設地

第1回定例会(3月)委員会質疑

広域事務組合議会報告

2月議員協議会時点

中巨摩地区広域事務組合議会 研修報告

組合議会議員：河田あけみ
依田茂巳

研修日：平成29年2月8日(水)

研修場所：甲府・峡東地域ごみ処理施設 境川最終処分場

研修内容：ごみ焼却施設について(施設内容・運営方法・その他)

まとめ

- ・中巨摩地区清掃センターは平成43年(14年後)には移転予定、事前研修として甲府・峡東地域のごみ処理施設を視察。
- ・当該焼却施設建設における特徴はDBO方式により民間事業者に設計から運営まで一括して業務を行うことで、経費削減を図り、施設の特徴は、発電効率を高めるために、全てを発電に回し、処理水は下水道を利用して処理する。
- ・中巨摩地区清掃センターの焼却灰の処理は境川の最終処分場により処理され約20年間で処理期間が終了予定。

山梨県後期高齢者医療広域連合事務組合議会 報告

組合議会議員：中澤康夫

開催日：2月17日(金)

- ・平成28年度一般会計補正予算(第2号)歳入歳出それぞれ増額、減額せず、歳出予算の組み替え。
- ・平成28年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
歳入歳出それぞれ363万8千円〔減額〕、歳入歳出総額：989億3948万2千円。
- ・平成29年度一般会計予算について、歳入歳出総額：4億7938万2千円。
- ・平成29年度後期高齢者医療特別会計予算について、
歳入歳出総額：993億6870万2千円。
- …その他条例制定2件

※甲府地区広域行政事務組合議会、三郡衛生組合議会の議会開催日程により掲載はありません。



県外議会の視察受入を行いました!

平成29年1月25日(水)午後1時30分～

なかがわむら

長野県中川村議会

- ・議会災害時対応の取組について
- ・議会モニター制度について
- ・井戸端会議について



平成29年2月16日(木)午前10時30分～

みなのもち

埼玉県皆野町議会

- ・住民に開かれた議会を目指す
議会広報づくりについて



甲府昭和高校との連携事業

昭和町の現状と課題について

日 時：平成29年2月17日(金) 午後1時20分～

主な内容：甲府昭和高校1年生のクラスは7クラスあり、それぞれのクラスから1グループ選出され、多様な視点から昭和町の現状についての課題や解決策が提示されました。来年度も甲府昭和高校より要請があり、続けていく予定です。

概要：甲府昭和高校生にとって最も身近な地域である昭和町。生徒たちは、基本となる資料から昭和町の課題を設定し、有識者3名による講演や、情報収集の仕方を学ぶ研修を経て、各自必要な情報を収集・分析し、グループでの熟議を重ねてきた。高校1年生の目線から「昭和町の現状と課題」についてまとめた内容を発表。

班	テーマ	議会から
1	人口減少 in the future	出会いの場を増したり、子育てに必要な環境や施設づくりをする提案はとても参考になった。
2	人の生死と社会環境	社会保障の充実と出生率の向上が必要ではとの見解であった。町民一人ひとりの健康意識の向上も大切であると感じた。
3	農業を増やしたい 委員会	専業、兼業農家について調査をし、新たな農業のあり方を提案してもらい、参考になった。
4	The population of "Showa"	年少人口、高齢人口を比較し、住みよい町への提案をしてもらった。医療のことにも触れられていたので、また政策提案の参考にしていきたい。
5	住みやすい町への 第一歩	町内3地区の人口を年代別に調べ、若い人、外国人が多いのでそれを踏まえて役場の窓口対応、高齢者対策への提案もあり、良かった。
6	昭和町の光 ほたる	ホタルの住みやすい環境づくりについての提案があり、町のシンボルとしてまた考えていかなければならないと感じた。
7	農業人口の減少	農業後継者の減少や収入の面での指摘があり、昭和町の農業に対し、政策提言の参考になった。





(紙面の都合上、一部意見要旨のみ掲載)

西条二区 (第8回)

11月18日 区第一公会堂

●出席者
区民 23名

●参加議員

総務常任委員会

林 和仁 依田 茂巳

田中 博愛 塚原 将司

鷹野 一雄

三井 猛議長

おもな
意見・要望と
議会の対応

Q 西条二区には歩道が整備されていない通学路が多いのが現状であり、その安全対策を町や議会はどのように考えているか。

A 西条小学校付近はゾーン30指定がされており、今後、押原小学校・常永小学校付近についてもゾーン30指定がされる。3小学校のPTA等で通学路においての危険個所の二斉点検を平成29年、1月27日に実施予定している。地域からも併せて危険個所の改善要望を教育委員会へ提出し

通学路の
安全対策を!



てほしい。

Q 西条二区の公会堂は規模が小さく、避難場所の確保も課題となっている。新公会堂建設を進めてもらいたい。

A 西条二区公会堂の用地確保の要望は出しており、公園用地確保と共に、前向きに計画が進行している。計画着手時期については都市計画マスタープラン・緑の基本計画策定以降となる。地元と協議をしながら進めていくとのこと。

河西区 (第9回)

12月15日 区公会堂

●出席者
区民 25名

●参加議員

総務常任委員会

林 和仁 依田 茂巳

田中 博愛 塚原 将司

鷹野 一雄

三井 猛議長

●地元議員
葉袋 義久

おもな
意見・要望と
議会の対応

Q 萩原石油付近交差点は、児童の通学路となっており、事故が非常に多く危険度が高い現状である。信号機の設置を早急に実施してもらいたい。

A 町が南甲府警察署へ強く要望している。県全体で、年間9基の信号機設置計画に基づき順次設置している状況と聞いている。今後とも引き続き、信号機の設置を強く要望するよう当局へ伝える。

Q 常永ゆめ広場について、芝生広場において、区民運動会やグラウンドゴルフはできる

交差点に
信号機の設置を!



のか。また、道具置き場はあるのか。

A グラウンドゴルフは実施可能。芝生広場の半分を、無料に貸し出すように現在なっている。貸し出しの方法は、管理事務所に芝生広場の利用予定表があるので、そこに記入の上、都市整備課公園係へ申し込みをしてもらうことになる。道具置き場はないため、各自管理をお願いする。区民運動会については、区の行事なので利用できるが、全体の半分利用で、申込書が必要になる。

河東中島区 (第10回)

1月18日 区公会堂

●出席者

区民 16名

●参加議員

教育厚生常任委員会

石原 高明 金丸 富一

河田あけみ 河住 保茂

石原 一好

三井 猛議長

●地元議員

遠藤 辰男 鷹野 一雄 中澤 康夫

おもな意見・要望と
議会の対応

Q 町民プールの利用について、65歳以上の町民の料金についても検討されたい。

A (当局) オープンしてから25年が経過し、老朽化が進んでいる。このような中で、65歳以上の利用料金を無料にすることはむずかしい。相応の受益者負担は、今後も施設を存続させるためには必要な事であると考えられる。利用される方の理解と協力をお願いする。



小学校の就学
状況は？

Q 各小学校の児童数の就学状況だが、特に常永小学校においては、年々児童数が増加傾向にある。しかし、押原小学校は減少している。押原小学校の児童数の増加計画などあれば聞かせてほしい。

A 押原小学校の児童数についてだが、平成28年度は、昨年より1クラス増となった。現在、市街化調整区域内の開発など、将来、押原地区の住民が増加するよう、町や地元と協議を進めていきたい。

押越区 (第11回)

1月21日 区公会堂

●出席者

区民 26名

●参加議員

産業土木常任委員会

中澤 康夫 葉袋 義久

遠藤 辰男 樋口 敏夫

堀 門太

三井 猛議長

●地元議員

石原 高明

おもな意見・要望と
議会の対応

Q 押原公園の防犯対策について公園外周の街灯が10本ぐらい消えているので点検してほしい。更に、公園内の休憩小屋6か所にブルー系の防犯灯を付けてほしい。

A (当局) 押原公園のソーラー照明等については、電球交換を行う。地上高1mほどの街灯は、壊されたので工事が必要になる。休憩小屋の照明は、深夜の青少年の集まる場所になるため設置する予定はない。しかし夜間暗すぎる箇所について



押原公園の
防犯対策を！

は、園路の照明と合わせて平成29年度に対策をするよう検討している。

Q 身延線と並行している農道100号線の一部が破損しており大変危険である。至急確認してほしい。

A ある部分においては、将来中央通り線が横断する予定でありその場所の整備は行わないが、その他は順次整備を行う予定。

西条新田区 (第12回)

1月28日 区公会堂

●出席者

区民 14名

●参加議員

産業土木常任委員会

中澤 康夫 葉袋 義久

遠藤 辰男 樋口 敏夫

堀 門太

おもな意見・要望と
議会の対応

Q 高齢者の免許返納により、今後タクシーを利用する回数が増える。お金がかかるので、コミュニティバスを利用したいがどうか。

A (当局) 昭和町は現時点では、コミュニティバスの運行は考えていない。将来的には、商業施設や公共施設、医療機関主要駅などを結ぶコミュニティバスの検討は、必要だと考えている。



コミュニティ
バスの運行を！

そのようなことはできないと考える。法律を変えるか、条例で変更するしかなく難しい問題である。

A (当局) 住民に収めていただいている保険料は、実際の介護費に充当する分以外に、現在、健康な方々が今後も介護を必要とせず、継続して健康でいられるような予防事業にもその財源を充てている。理解の程よろしく願います。

Q 介護保険料は、65歳より支払っているが、現在、健康な人には恩恵がない。例えば人間ドックが無料になるとか、なにか特典は。

A 介護保険は国の法律で決まっているため、



議員記者が行く!のテーマは「食生活改善推進委員会」。町内で活躍する皆様にスポットを当て、活動の姿を追っていきます。今回は会長の篠原さん取材しました。



食生活改善推進委員会

Q 食生活改善推進委員会とはどんな組織ですか?

A 子どもから高齢者まで、会員が食を通して体の健康を応援する組織です。現在の会員数は63名です。食推は全国組織で、全国のスローガンは、「私たちの健康は私たちで」。また、私たち昭和町のキャッチフレーズを「減塩でみんな元気! 地域・家庭」とし、地域の中でボランティア活動を推進しています。



定期総会での篠原会長あいさつ



各地区の連絡員

Q 主な活動は?

A 統一メニューでの各地区伝達講習会
生活習慣病予防教室(対象:生活習慣病が気になる方)
はつらつ栄養教室(対象:高齢者)
食育の普及(対象:親子)
などを中心に活動しています。

Q これからの抱負は?

A 町民の方の減塩をはじめとする食育への意識を高めていくこと、そのためにも一緒に活動する方を募集中です。また、各種団体との連携などが課題です。



各区での活動



会長へのインタビュー

Q 会長から町のみなさんへ

A 食生活改善推進委員会は本年50周年を迎えます。是非、家庭や地域で減塩を心がけていただき、子どもから高齢者まで、みんなが元気で暮らせる昭和町でありたいですね。

議会クイズ



正解者の中から抽選で5名の方に
図書カードをお送りいたします。



ヒント

空欄に当てはまる言葉を入れてください。

議会だより173号(この号)を読んでください

- ①平成28年度、当議会広報が“議会だより 町村の部〇〇〇賞”を受賞!
- ②角野町長所信表明 基本とするのは3つの〇
- ③甲府昭和高校との連携事業 「昭和町の〇〇と〇〇」についてまとめた!

No.172に対する
前回のお葉書で

こんなご意見を
いただきました!



温水プールの使用料を町内外で差をつけたことは賛成です。昭和町民の税金で運営しているのですから。それでも他の施設からみると安い方ですし、幼児が無料なので、入場者も減ることはないと思います。

(57歳・女性)

常任・特別委員会県外視察の記事を読みました。研修地 本所防災会館よいところに行かれました、わたくしも以前同じ所にいました、災害はわすれたところにやってくると言われています。大規模災害がちかいうちに起こると言われています、是非昭和町で学びが生かされますように活躍を願います。

(40歳・女性)

普段議員の方がどんな活動をしているのかよく理解できました。

(38歳・女性)

【応募方法】

- ①クイズの答え ②住所 ③氏名(ふりがな)
④年齢 ⑤議会だよりを読んだ感想

を記入して、はがき・FAXまたはメールにてお送りください。議会だよりへの要望・意見等もありましたら、お受けいたします。

【あて先】

- 〒409-3880 昭和町押越542-2
昭和町議会事務局「議会クイズ係」宛
●FAX:055-275-0370
●メール: gikai@town.yamanashi-showa.lg.jp
《しめきり》 5月末日消印有効



平成28年度

議会広報コンクール
町村の部

最優秀賞
受賞!!

今回、議会だよりしょうわ171号が議会広報コンクール町村の部において、最優秀賞を受賞しました。常に、町民の皆様が読みやすく、議会活動や議会改革が一目でわかるよう、先進地視察や研修を通じ研鑽を積んできました。その成果が県に認められ、とても誇らしく感じると共に、町民や関係者の皆様に心より感謝申し上げます。更に町民の皆様に関心を持っていたけよう、広報編集委員会一同、努力していきます。

委員長 石原高明



青空と緑と産業のまち「昭和町」に住む
皆様にご意見・ご感想を伺いました。

住んでみて

自分の出来る事を



紙漉阿原区
川口

かわぐち
武さん

仕事の都合で平成8年8月に、埼玉県から昭和町に引っ越して来ました。家族帯同と言う事も有り、会社から事前に旧竜王町と昭和町のアパートを紹介され、会社には少し遠い昭和町を選択しました。

理由は生活に便利で静かな環境でしたので、子供達も安心して育てられると思いました。それから5年程経った頃、この土地で一生暮らして行きたいとの思いで、昭和町内、特に紙漉阿原区内で土地を探し、家を建てました。自治会にも参加させてもらい、改めて地域の事を教えて頂きました。

また平成17年には組長を経験し、より近隣の人達と親しくさせて頂きました。区の行事や学校奉仕活動も、仕事がある上で大変でしたが、自分の出来る事を遣らせて頂きました。子供達も成人し、自分の会社生活も残すところ7年に成りますが、まだまだ長いこの昭和町での生活に期待しております。

リニア中央新幹線の開通、中部横断自動車道開通、大型スーパー増築で昭和町も益々発展すると感じています。災害にも環境にも安心安全な街づくりに協力したいと思います。

調和のとれた町、昭和町



河東中島区
遠藤

えんどう
泰子さん

私が茨城県から嫁いで、間もなく半世紀を迎えようとしております。

当時の昭和町は、自然が豊かでとてものかなな町でした。北は八ヶ岳そして南には富士の美しい姿をいつもいつも仰ぎ見ながら暮らせる事がなによりもの楽しみでした。この緑豊かな町で子育てができたことは、子供達にとっても大変恵まれた時でした。地域の皆さんにも支えて頂きながらなんとか子育ても卒業し、ほとしたのもつかの間で、いつの間にか高齢者の仲間入りです。我ながら月日の流れの早さには驚いています。

近くには素晴らしい公園が造られたり、大型ショッピングモールが出来たり、また近い将来にはリニアも開通するやうと、目を見張るような町の発展ぶりです。我々高齢者にとっては少々目まぐるしさも感じますが、若者達にとっては子育てしやすく、そして利便性に優れた住みよい町であると思います。このまま自然をよりよく残して、いつまでも美味しい地下水がいただける様な調和のとれた美しい町づくりを心がけていたきたいと思います。

そしてこれからは昭和町も高齢化率が高くなると思いますので、車の免許証返納後の交通手段等について、良い方法を考えて頂き、高齢者にも住みよい町づくりを早急に実現される事を切に願います。

議会事務局長に深川和彦氏



- 平成25年4月1日から4年間、議会事務局長として勤務された**今澤幸広氏**が企画財政課長へ。
- 平成24年4月1日から5年間(産休1年)議会事務局職員として勤務された**磯部千鶴氏**が町民窓口課へ。
- 平成29年4月1日付の人事異動により、後任として前環境経済課長の**深川和彦氏**が議会事務局長に着任となりました。
よろしくお願いします。

広報編集特別委員会

委員長 石原 高明
副委員長 堀 門太
委員 林 和仁
金丸 富一
石原 依田
一好 茂巳

議会を傍聴しませんか

次回定例会は6月6日(火) 開催予定です
議会事務局 ☎27-5-8842

